

学級通信 鰍沢中 3年生 2018年10月9日 No. 24 中間テスト対策を!



I TO THE TOUR STANDS



Ŵ

読み物について

台風の夜, 職場に向かう鉄道員の父に向かって「お父さんは家庭より仕事が大事なのね」と娘が責めました。父は真剣な表情で「比べちゃいけないものがある」と答えます。仕事とプライベートのどちらが大事か, 同じ天秤ではかることはできません。



子どもが大人の働く姿は見るとき、尊敬というよりは、家庭のことを顧みないことに腹を立てることがあるかもしれません。私も中学生のころ、仕事を優先して、家庭のことは何でも母に押しつける父に反発しました。しかし、自分が社会人になり、仕事をすることの重みを感じると、そのときの父の気持ちが痛いほど良くわかるようになりました。

この読み物は時代背景からすると、ずいぶん昔の話です。夫が働き、妻が家を守ることがあたり前の時代のことです。最近は社会が変わり、社会に出て働く女性が増えてきました。しかし、時代は変わっても、働くことの意義や尊さは変わらないと思います。この資料を通して、中学生ならではの、働くことの意義について考えてくれたらうれしいです。

「働くことの意義」という観点で、授業を通して、学んだこと、考えたこと(一部紹介)

- 働くことの意義は、それは人の役に立ち、自分を育てていくことです。そこには、たくさんの笑顔、喜びが待っていると思います。お金の他にも得るものがたくさんあります。
- 働くことは同時に誰かを守ることにつながっていると考えた。だから、働いて誰かを、 家族を守っていけることが「働くことの意義」だと思う。ときには家族より優先して仕事をしなければいけないこともあると思う。
- 働くことは生活をするために必要なことであり、大切なこと。しかし、家庭も大事。これは比べることができないもの。
- ⑤ 家族、日本、世界を支えることだと思う。大切なものを支え、守るためにも仕事は必要不可欠である。他の大切ななにかと比べることもできない。
- 働くことの意義は、他の人の役に立つことができることだと思う。人のために働けることが生きるうえで一番楽しく、幸せなことだと思う。



時代が移り変わっても、

私は、それを追求して生きていきたいと思います



変わることのない「働くことの意義」って何だろう?

